

シグマ研究委員会 軽・中重核データWG 会合議事録

日 時 昭和 53 年 10 月 20 日(金) 13:30~17:30
場 所 原研東京本部 第34会議室
出席者 田中(原研), 村田(NAIG), 北沢(東工大), 小林(京大炉),
山越(船研), 西村(原研), 中島(原研), 更田(原研), 川本(NAIG),
八谷(三井造船), 神田(九大), 五十嵐(原研), 杉(原研),
菺田(阪大), 浅見(哲)(原研)

配布資料

1. プロット図のサンプル(3枚)
2. JENDL-2 収納核種(FP核種を除く軽・中重核種)
3. Dr. Pearlstein からの手紙(コピー)

議 事

1. プロット作業経過報告(浅見)

昨年度より行ってきたプロット作業の経緯および現状について報告があった。
また、資料(1)によりプロット図の内容の説明があった。

2. 評価作業の経過報告

JENDL-2 に収納する軽・中重核種および評価担当者等について浅見(哲)
より資料(2)にもとづいて説明があった後、次のように各評価担当者から評価作
業の進捗状況について説明があった。

${}^4\text{He}$, ${}^6\text{Li}$, ${}^7\text{Li}$: 菺田
${}^9\text{Be}$: 浅見(伊尾木)
${}^{10}\text{F}$: 杉, 西村
${}^{27}\text{Al}$: 中島
Si, isotopes	: 浅見
Ca, isotopes	: 八谷
Ti, isotopes	: 小林

V, isotopes : 田中
Fe, isotopes : 川合, 山越
⁹³Nb : 神田

それぞれの報告に関連して評価法の問題点, データの取り扱い等に関して議論が行われた。

3. 今後の評価作業の進め方

五十嵐委員よりCGの要請としてJENDL-2は3月末までに編集作業を完了しなければならないので, 評価データは2月末までに出して欲しいこと, できれば本年12月末に出して欲しいとの説明があった。

Mo およびその isotopes の評価 (threshold reaction のみ) を北沢委員が担当することになった。

各自担当の評価作業の中間報告または最終報告を遅くとも12月の研究会のときにしてもらうことにした。報告のやり方については田中委員と浅見(哲)とで相談してきめる。また, 評価作業の進展に従って必要に応じてサブワーキング・グループを考えることにした。

五十嵐委員より資料(3)の紹介があり, ENDF/B のデータの取扱いに十分注意するよう説明があった。

4. Harwell Conf. の話題

更田委員から, 出席した Harwell Conf. の概要およびトピックスについて説明があった。なお, この Conf. のプログラムのコピーをWGメンバー全員に配布することにした。